

若狭みかた梅を活用した梅加工品製造事業

- ◆ 梅栽培技術の向上、流通及び販売の改善等経営の合理化を図るため、平成28年、若狭町の梅栽培農家有志で任意組合を設立。
- ◆ 梅栽培面積1.7ha、梅出荷量16t、組合員12名（平成28年）。

【総合化事業の目標】

- ◆ 福井県産梅発祥の地である三方五湖湖畔の若狭町西田地域で生産されている梅「紅映（べにさし）」「福太夫」を当組合独自の基準に基づいて選別。その選果梅を原料に加工・販売を行い、若狭梅のブランド化を図る。
- ◆ 梅栽培面積を3年後に4.5haへ規模拡大するとともに、作業の共同化や経営の合理化を図ることにより、更なる所得の向上と雇用の確保を目指す。

【総合化事業の具体的な内容】

- ◆ 紅映は大玉・秀品に選別したものを使用し、調味液を使わない昔ながらのしそ漬け梅干しに、また福太夫は完熟梅（樹上で完熟期を迎えた梅をネットで収穫）を使用した梅干しに加工し、販売する。
- ◆ 規格外品の梅を丸ごと使用して圧搾した梅生果汁（梅エキスの原料）を梅エキス製造業者等に販売する。

認定日：平成29年10月31日

